

## 第1章 コレクションのあゆみ

# 名品ぞくぞく登場!

第1章では、コレクションのあゆみとして当館を代表する作品、ルノワールの《麦わら帽子の少女》をはじめ、近代日本画壇の巨匠奥田元宋、パリを描き続けた荻須高德、日本のゴッホと呼ばれた棟方志功、詩人としても有名な彫刻家高村光太郎などの作品を厳選し展示します。



高村光太郎《手》



オーギュスト・ルノワール《麦わら帽子の少女》

## 第2章 高校生キュレーターの目

# 高校生が選んだ作品は?

第2章では、高校生キュレータークラブのクラブ員が設定したテーマに基づき、彼らが選んだ作品を展示し、その解説も担当します。また前年度のクラブ員たちが取り組んだ美術館通りの彫刻の作品解説もあわせて展示します。



黒川晃彦《切り株に座って》

## 第3章 郷土ゆかりの画家 谷口仙花

# 米国から里帰りした美人画14点が集結!

第3章では呉ゆかりの日本画家・谷口仙花(1910-2001)を紹介します。昭和初期の女性風俗を情緒豊かに描いた谷口仙花は、戦中から戦後にかけて呉市で暮らし、渡米後、米国で亡くなったため長く忘れ去られていました。近年の研究成果をふまえ、新たに発見された作品や資料、米国から里帰りした作品、船田玉樹との合作など初公開を含む約80点の作品と資料により、その画業を顕彰します。



谷口仙花・船田玉樹《桜美人図》(合作)



谷口仙花  
《レースのショール》

谷口仙花  
《黄色の着物》

## 開館35周年記念

# 呉市立美術館の あゆみ展

呉市立美術館は呉市制80周年を記念して1982年8月に開館し、今年度で35周年を迎えました。

### 〈関連イベント〉

- ①【関連展示】呉市立美術館メモリアル  
美術館開館当時の写真や、これまでの特別展で人気の高かった展覧会のポスターを会期中2階ホールに展示します。
  - ②【講演会】「“モダン”と“伝統”を生きた日本画家—谷口富美枝(1910-2001年)」  
日時:1月14日(日) 13:00~14:00  
講師:北原恵(大阪大学文学研究科・教授)
  - ③【谷口富美枝(仙花)研究会】  
日時:1月14日(日) 14:30~16:30  
※詳細はホームページをご覧ください。
  - ④【担当学芸員によるギャラリートーク】  
日時:1月21日(日)、2月4日(日) 各回14時~(約60分)  
1/21は高校生キュレーターも参加します。
  - ⑤【ワークショップ】  
所蔵作品を参考にした顔型のレリーフづくり  
※比治山大学連携事業  
日時:1月28日(日) 13:30~15:30  
講師:今田拓志(比治山大学短期大学部准教授、日本工芸会正会員)  
定員:小学生以上20名(低学年は保護者同伴)  
参加費:1,500円
- ②③⑤はホームページの申込専用フォームから②③は1/5(金)、⑤は1/14(日)までにお申し込み下さい。申込多数の場合は抽選となります。関連イベントに参加される方は、展覧会の観覧券が必要です。



- 【交通】
- JR広島駅から呉線快速で30分、JR呉駅下車約800m
  - 呉駅前バスのりば③番から(首戸・倉橋方面行)5分、「眼鏡橋」下車約200m
  - 広島バスセンター⑥番から(呉本通6丁目行)50分、「四ツ道路」下車約500m
  - 広島東ICから広島呉自動車道(クリアライン)経由で30分
  - 駐車場:入船山公園駐車場(60分/100円)

Twitterで最新情報配信中!!  
公式アカウント(@kure\_bi)

本展に特別の記念品を付  
送(無料)に申し込んで下さい。  
一般  
800円▶700円  
(2名様まで)